



「み」らいへ「う」け継ぐ「ち」いきの絆

海内まちづくり計画



令和5年4月

海内地域づくり協議会



まちづくり計画ができるまでの経過

令和2年
11月～
令和3年
1月

◆「地域づくり協議会」の振り返りの取り組み

- ▶運営委員会にて現在とこれからの海内地域について意見交換
まちづくり計画の見直しについて協議



令和3年
2月
～
6月

◆アンケートの実施に向けて協議

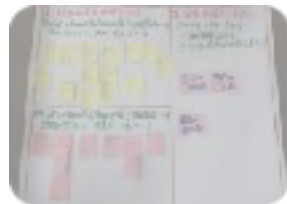
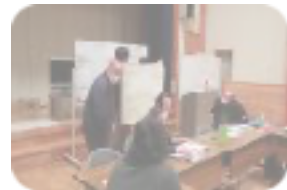
- ▶本部役員会にて住民の意見を聞く事が必要⇒アンケートの
実施を決定⇒アンケート結果を計画の見直しに活かしたい



令和3年
9月～
令和4年
1月

◆アンケート企画委員会での協議を経て、アンケート実施

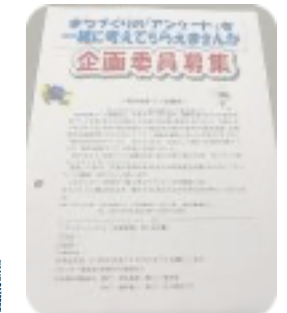
- ▶他市町や地域の事例を学び、アンケート内容について検討
アンケートの「ねらい、目的、内容、項目」について協議



令和4年
2月
～
3月

◆アンケート調査の集計

- ▶アンケート結果から見えてくるものについて分析、意見交換
※結果や決まった内容等、詳細は別ページ参照



令和4年
4月
～
12月

◆各種団体との意見交換会の開催

- ▶消防団・婦人会・福社会・海内桑野自治会
地域カルテを基に、役員や行事の「見える化」をし、
組織の見直しについて協議



令和5年
1月
～
3月

◆まちづくり計画の作成

- ▶これまでの意見交換会や、アンケートの結果・内容を踏まえ、
新たなまちづくり計画の作成

Topic ! どうする？まちづくり計画

2011年策定 海内地域まちづくり計画 ～おひとりさまも安心して暮らせる海内の郷づくり～



海内地域まちづくり計画が策定され、10年が経つ2020年から海内地域づくり協議会では、「振り返りの取り組み」を行ってきました。運営委員会を対象に意見交換を重ね、「まちづくり計画」の見直しが決まりました。

なぜ「まちづくり計画」の見直しなの？



策定から10年以上が経過して、いろいろな問題が生じているんだ



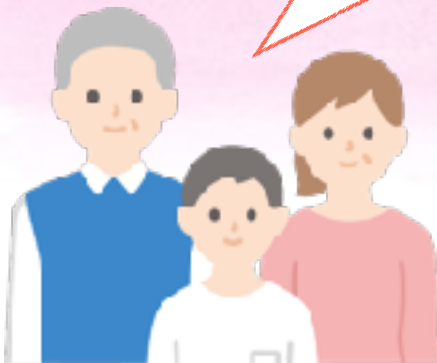
例えば、事業のマンネリ化、役員や組織体制の硬直化、参加者の減少…など課題はたくさん



海内・桑野の住民の皆さんに意見を聞くことが必要



アンケートの実施をして計画の見直しに活かそう！



2022年1月

海内・桑野住民アンケート実施





海内・桑野地域のみなさんに聞きました！

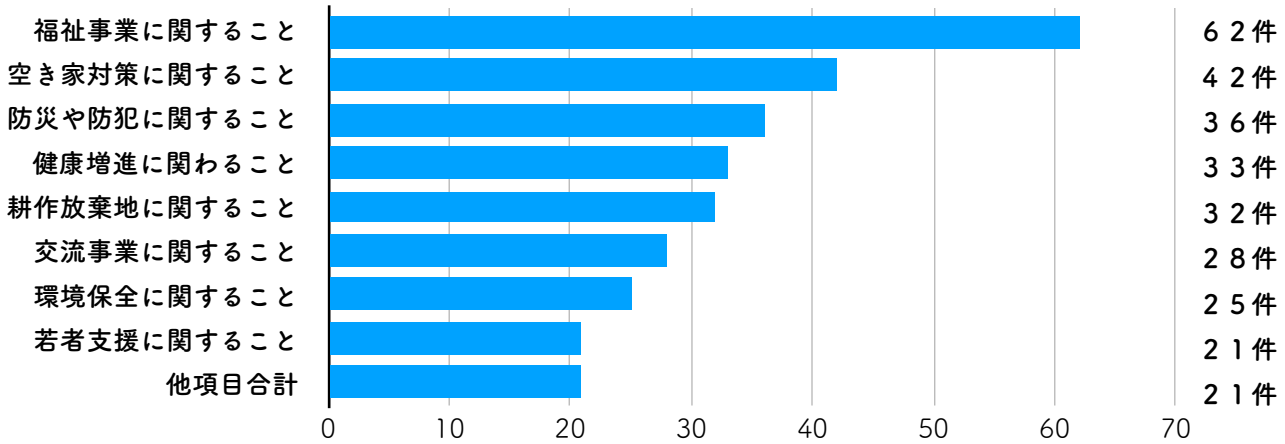
令和4年1月に実施した「海内地域づくりアンケート」の一部をご紹介します。
多項目の回答ありがとうございました。

アンケートの回収状況 海内桑野の世帯数／66世帯（全住民163人対象）

回収数	回収率
145件	89.0%

Q. 今後、地域づくり協議会が行うべき活動

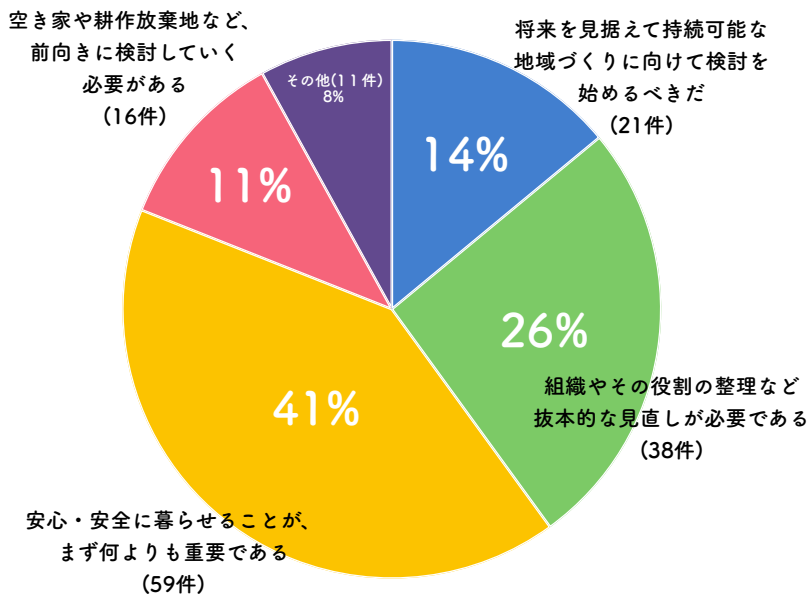
■ 今後、地域づくり協議会が行うべき活動について優先度が高いと思うことは（3つまで）



小さな地域だからこそ、**みんなで考え支え合わない**といけないね！
海内・桑野地域でできることって何だろう？



Q. 将来に向けて重要だと思うこと



将来向けの**見直し**や

検討を必要としている

声が多数あります。

「**持続可能な地域づくり**」

を目指して、組織や役割の

整理など、抜本的な

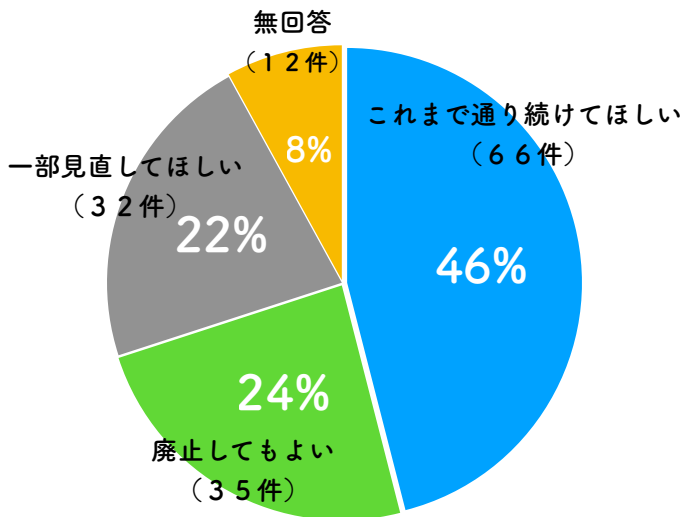
見直しが求められています。



将来に向けての見直しは分かったけど…
 私たちが実際に参加する納涼祭や体育祭などのイベントは
 アンケートの結果どうなるんだろう？



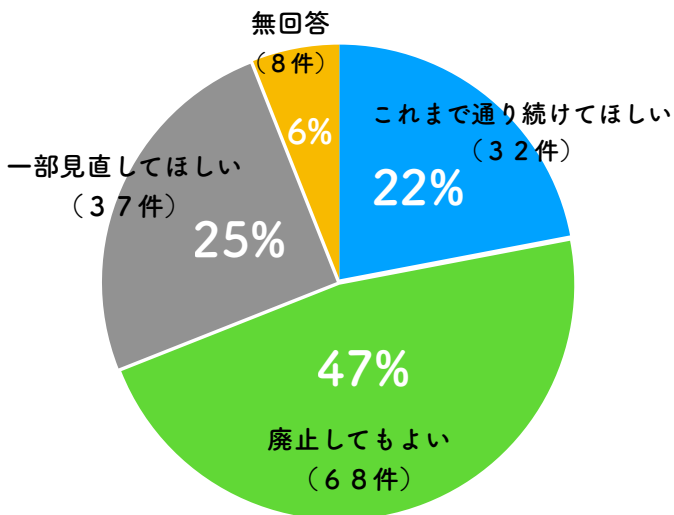
納涼ふるさと祭り



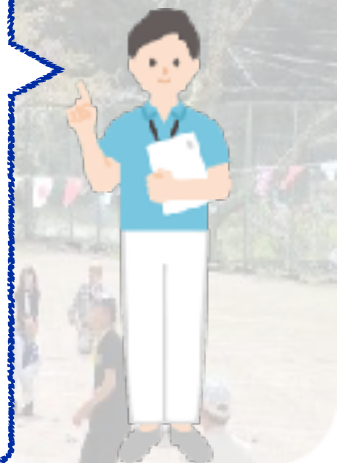
アンケートの結果を踏まえて
 協議した結果、「バザーの廃止」
 や「運営委員の負担軽減」などを
 取り入れ、今後も地域の伝統であ
 る納涼ふるさと祭りを継続して
 いくことが決まりました！



ふれあい体育祭



ふれあい体育祭は、アンケートの
 結果を踏まえて協議した結果、
 「後1回の開催の後、廃止」
 します。ふれあい体育祭に代わる
 ふれあいイベントを
 検討していきます！



計画をまとめよう！



アンケートや、多くの意見交換会を重ねて見えてきた
 「これからの海内・桑野地域のために、やるべきこと・考えるべきこと」って何だろう？

朝目覚めると
さまざまな鳥のさえずり

田んぼに水が入ると
一晩中聞こえるカエルの大合唱

台風の時節にはうなる木々の音

四季折々に咲く花の色
季節が進むごとに変わる山の景色

何もないところだと言われる、行き止まりの限界集落には
目には見えない豊かさがあります。

その一方で、限界集落と言われる海内・桑野地域には
空き家、耕作放棄地、獣害、人口減少による地域の担い手不足…など
問題・課題は多岐にわたります。

これらの問題を、他の地域と同じ目線・解決策で考えるのではなく
海内・桑野地域の特徴に合った、「独自の地域づくり」が
これからの「限界集落の新しいかたち」に成り得ると思います。



海内地域づくり協議会

〒679-5335 兵庫県佐用郡佐用町海内63

